2023 年 02 月 27 日

課題名：人間ドックにおける運動器への取り組み
―ロコモ・フレイル予防への早期アプローチに向けて―

◆研究の目的と概要◆

当院では、加齢や身体的虚弱による運動機能の低下について、早期の予防的取り組みの効果を調べています。本研究では、現在の運動器への取り組みの現状を分析し、今後のよりよい診療を行うことを目的としています。

※ロコモ・フレイル：加齢による運動機能低下

◆対象となる患者さん◆

2019 年 6 月から、2023 年 2 月までの間に、当予防医療プラザ人間ドックでロコモ健診および、歩行姿勢測定検査、フィジカル健診を受診された方。

◆研究に使用される情報・試料◆

対象者数、性別、年齢、身長、体重、BMI、ロコモ度判定結果（ロコモ度テスト結果）、サルコペニア基準（加齢による筋肉量の減少）

◆研究方法◆

本研究は過去の人間ドック結果からの情報を利用します。

＊ 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。ただし、解析中または、既に学会等で発表されたデータについては、削除できないことがありますことをご了承ください。

＊ 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合せ先までメールでご連絡ください。

【問い合せ先】
公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構　倉敷中央病院
リハビリテーション部　研究責任者　山本　遼
E-mail：　kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）
（★を@に変換して使用してください）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法
  （他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明